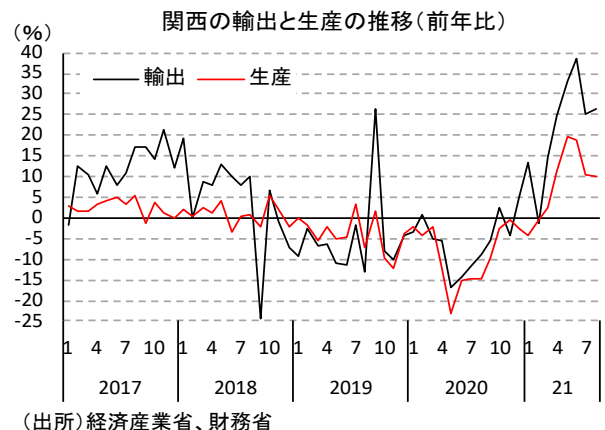
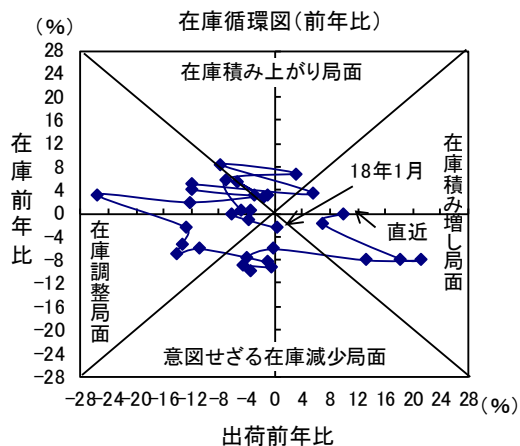
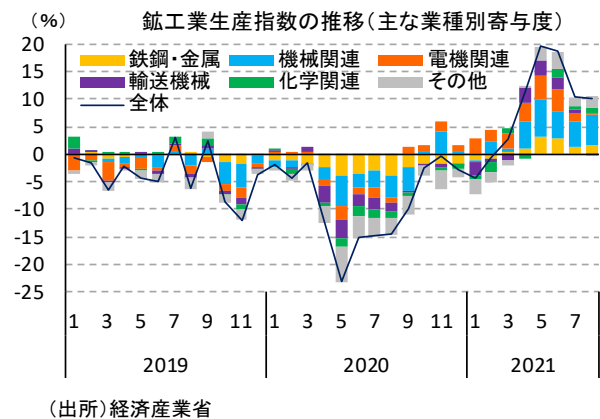
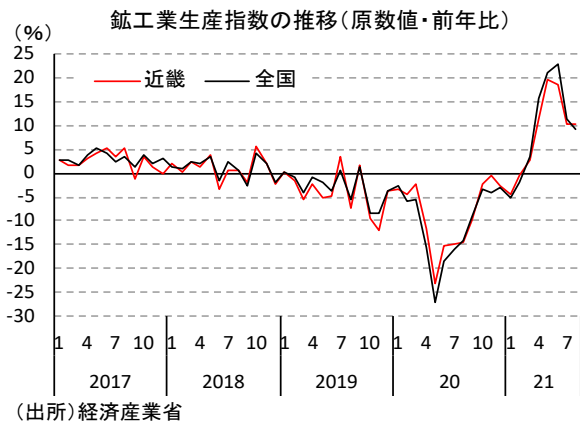


関西の景気トピックス【鉱工業指数（21年8月）】

- 21年8月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で10.2%増と、6か月連続の増加となった。ただし、2年前比では6.0%の減少となっている。業種別の推移では、前月に続き、機械関連が前年の反動等で増勢を維持したが、その他の業種は全体的に伸びが鈍化した状態が続いている。
- 在庫循環の動きをみると、前月と同様に、需要の増加に備えて在庫を増やす「在庫積み増し局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在し、昨年中旬を底にした回復基調が続いている。今後もコロナの影響からの世界的な需要回復や5G、EVといった新たな需要を背景に、当面は堅調な推移が期待される。ただし、半導体不足による関連業種への影響には注意する必要がある。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。